

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	市民文化会館(西川芸能練習場を含む)、公会堂
所在地	豊橋市向山大池町20番地の1ほか
指定管理者	公益財団法人豊橋文化振興財団
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	文化・スポーツ部 文化課(0532-51-2873)
令和6年度指定管理料(決算)	69,800千円
令和7年度指定管理料(決算見込)	74,800千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	計画書に基づき、邦楽鑑賞会をはじめとした各種自主事業が実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書のとおり、適正に人員配置がされており、組織の指示、チェック体制も業務に適した体制が確保されている。また、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	OJTによる人材育成や接遇研修・個人情報保護に関する研修などが計画的に実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき、個人情報が管理されており、職員に対する周知も徹底している。				
	環境への配慮状況	温室効果ガスの排出量の削減を含む環境への配慮が実施されているか。	使用していない部屋はこまめな消灯と空調の停止を行い、省エネルギーに努めている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理対応マニュアル、非常連絡網が整備され、防火訓練等も実施されていることから、十分な取組みがなされている。				
施設利用状況	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則し適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	348日	347日	347日	0日
			利用者数				
			a. 市民文化会館	87,334人	33,949人	27,493人	▲ 6,456人
			b. 西川芸能練習場	6,523人	6,744人	6,747人	3人
			c. 公会堂	60,438人	67,381人	67,772人	391人
			計	154,295人	108,074人	102,012人	▲ 6,062人
			【要因分析】 豊橋市民文化会館は引き続き改修工事の影響により利用者数は減少しました。豊橋市公会堂は豊橋市民文化会館の代替利用などもあり微増となりました。西川芸能練習場においては、稽古場等としての利用も引き続きあり、堅調な利用者数となりました。				

様式1

施設利用状況に関する事項

サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	利用者が快適かつ安全に施設利用できるよう、備品修繕等の環境整備を適切に実施した。			
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	10月から2月の5か月間にわたり利用者アンケートを実施しました。総合的な満足度の欄において豊橋市公会堂では「とても満足」、「まあ満足」及び「普通」の合計が回答全体の94.7%、豊橋市民文化会館では95.2%を占めており、両館ともおおむね良好な評価をいただきました。 個別項目の分析では、豊橋市公会堂において「設備・備品」に一部不満の回答がみられました。豊橋市民文化会館においては、「案内表示」、「利用料金」及び「設備・備品」の項目で不満の声が寄せられており、引き続き改善に向けた取り組みが必要です。 豊橋市民文化会館については、改修工事への期待も高く、利用者の声を反映した設備整備やサービス向上に向けた準備を進めるとともに、案内表示の見直しなど日常的な運営面においても改善に努め利用者満足度の向上に努めてまいります。			
意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
		ホールロビーのスロープとガラスの壁の間に隙間があり危ない(文化会館)		机及び椅子を置くことで隙間を埋めた。	
		2階ホール前(エントランス)の熱中症対策をしてほしい(公会堂)		施行的な対応として、2階応接室のエアコンの冷気を大型扇風機により送風。	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切・迅速に対応している。			

管理経費等の収支状況等

経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	指定管理業務については概ね収支計画書通りの収支状況となっている。 自主事業については支出の方が大きくなっている。			
	収支計算書	収入の部		支出の部	
		指定管理料	74,800千円	指定管理事業費	81,243千円
		利用料金収入	14,087千円	自主事業費	6,485千円
		自主事業収入	3,995千円		
		その他収入	1,224千円		
		収支差額		6,378千円	

指定管理者の提案事業の実施状況	主な自主事業として以下の事業を実施した。 ○邦楽鑑賞会 令和7年4月～10月 7回開催 入場者数:350名 ○豊橋総合いけばな展(春・秋) 令和7年4月26日(土)・27日(日)、令和7年10月18日(土)・19日(日) 入場者数:1,154名 ○伝統文化こども教室 日本舞踊の部 令和7年8月5日(火)～7日(木)・19日(火)～21日(木) 参加者数:延べ44名 三味線の部 令和7年8月4日(月)～6日(水)・19日(火)～21日(木) 参加者数:延べ35名 剣詩舞の部 令和7年7月23日(水)・31日(木)、8月10日(日)・17日(日)・25日(月)・28日(木) 参加者数:延べ59名 箏曲の部 令和7年7月25日(金)・26日(土)、8月8日(金)・9日(土)、8月22日(金)・23日(土)午前・午後 参加者数:延べ76名 津軽三味線の部 令和7年7月29日(火)～31日(木) 参加者数:延べ43名 ○豊橋邦楽大会 民謡・新舞踊の部 令和7年10月6日(土) 入場者数:150名 ○豊橋邦楽大会 民謡・大正琴・三味線の部／箏曲・長唄・尺八・小唄の部 令和7年10月7日(土) 入場者数:180名
当年度の対応方針	豊橋市民文化会館の改修工事が続き、施設の一部が休館している状況であるため、指定管理者には柔軟な施設運営をお願いする。また、豊橋市公会堂は豊橋市民文化会館のホール機能の代替として重要な役割を果たすため、両施設が同一の管理者によって運営される強みを活かし、施設間の連携を高め、文化活動の場としての機能を維持し、市民にとって快適で充実した利用環境を提供することを求める。 改修工事ではあるが、引き続きアンケートを実施し、利用者の声を的確に把握すること。また、アンケート結果をもとに施設運営やサービス向上のための具体的な改善策を検討・実施していただきたい。
指定管理者の自己評価	豊橋市民文化会館及び豊橋市公会堂は、いずれも地域の多様な文化団体の活動拠点として重要な役割を担う施設です。豊橋市民文化会館においては引き続き改修工事により利用可能な諸室が大幅に減少しましたが、利用者の混乱や活動の停滞を避けるため、事前の丁寧な説明に加え、リハーサル室の活用や豊橋市公会堂の利用を促すなどの対応を講じた結果、大きな混乱もなく、全体として一定の利用水準を確保することができました。 施設利用は全体として堅調に推移し、施設利用料金収入も概ね見込みどおりの決算となりました。支出面では、一部委託業務の見直しを実施するとともに、市民文化会館においては改修工事期間中の人員の適正配置により、費用の削減にも努めました。 施設の維持管理に関しては、施設の老朽化が進む中であっても、利用者が安心して利用できる環境の確保を目指し、空調設備や照明設備の修繕を実施するなど保全に取り組みました。これらの取り組みにより、総じて安定した管理運営が図られたものと評価しています。 また、自主事業としては、市内のさまざまな文化団体と連携して「豊橋邦楽大会」などを開催したほか、日本舞踊、三味線、箏曲などの伝統文化を対象とした子ども教室を、文化団体の先生方のご協力のもと実施しました。これらの取り組みを通じて、市民の芸能・生活文化の振興を図るとともに、文化を介した市民の交流や文化活動の広がりに寄与できたものと考えています。
総合評価	豊橋市民文化会館では、大規模な改修工事により、部分的な施設休館や使用制限が続いた状況であったが、適切な人員配置と運営体制により運営を維持した。特に、改修に伴う利用者の混乱を最小限に抑えるため、リハーサル室や豊橋市公会堂の活用を促し、施設間の利用調整を柔軟に行った点は、円滑な施設運営をしたとして評価できる。 施設修繕については、緊急性を判断し、利用者の快適な利用のために計画的に実施している。
次年度の対応方針	豊橋市公会堂においては「設備・備品」、豊橋市民文化会館においては「案内表示」、「利用料金」及び「設備・備品」に関する不満の声が寄せられていることから、引き続きアンケートを実施し、利用者ニーズを的確に把握されたい。併せて、アンケート結果を踏まえ、利用者の声を反映した設備整備やサービス向上、案内表示の見直しなど、施設運営における具体的な改善策を検討・実施し、利用者満足度の向上に努めていただきたい。 利用者のニーズの把握のためには、アンケートの回収数を増やす必要があることから、より有効な実施方法を検討していただきたい。 また、公会堂は、文化施設かつ文化財としての価値をPRするように求める。